

他にはない独特な場所である妙高市は、図らずも 7 つの天然温泉の所在地で、そのすべてが独特の色と泉質をしています。赤倉温泉、新赤倉温泉、池の平温泉、杉ノ原温泉、妙高温泉、燕温泉、関温泉からなるこの一帯には豊かな温泉文化があり、訪れた人々は滞在しながら楽しむことができます。また、これらの温泉はそれぞれ距離が近いので、すべて 5 分か 10 分のちょっとしたドライブで行き来することもできます。

これほど変化に富む温泉が集まっているので、訪問客は、異なる泉質やお湯の色など、それら 7 つの主要なスポットのユニークな違いが理解できるようになるでしょう。これらの温泉の違いの一番簡単な見分け方は、それぞれのお湯の色や健康面の特質や効能で識別する方法です。

赤倉温泉、新赤倉温泉、杉ノ原温泉、妙高温泉は、すべて透明なお湯が特徴で、カルシウム、マグネシウム、硫酸塩その他のミネラルのおかげで、血流の正常化から切り傷や外傷の癒しまでのすべてに効能があります。池の平温泉は、透明のお湯と黒いお湯の 2 種類のお風呂があり、黒いお湯のミネラルは、湿疹といった乾燥肌による問題を癒すことで知られています。燕温泉の方まで登ると、硫酸塩、硫黄、重炭酸塩を豊富に含む白く濁ったお湯があり、高血圧に効果のあることが知られています。最後に関温泉は、高濃度の鉄分を含むため、うっすらと赤褐色を帯びた赤いお湯で知られています。

熱烈な温泉好きにとって妙高市は、これほど多くの異なる種類の温泉が都合よく一カ所に集まる珍しい土地であり、ぜひとも訪れるべきスポットです。妙高市周辺の景色は、訪れるべきもうひとつの理由です。これらの温泉が、新潟の素晴らしい自然の景色のなかに収まっているからです。特に、木々が色づき山々が色とりどりの紅葉で染まる秋や、日が輝きすべてが鮮やかで豊かな緑になる夏などの季節は最高です。